

令和 7 年 8 月 28 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

大阪府		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
大阪教育大学附属池田小学校	国立大学法人大阪教育大学	国立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
大阪教育大学附属池田小学校	https://fuzoku-ikeda.oku.ed.jp/kyoiku/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL
大阪教育大学附属池田小学校	https://f-ikeda-e.oku.ed.jp/home/

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

(

・計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

)

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

(

・実施している

・実施していない

)

＜特記事項＞

毎年度末に地域の警察・消防・行政および近隣住民の方を招き、学校安全管理委員会を開き、その場で附属池田小学校の安全教育や危機管理の実施状況の報告を行い、助言を頂いている。

令和6年度は、「子供とつくる学び」をテーマに、全国規模の教育研修会を対面で実施した。安全科を含む18本の授業と公開不審者対応訓練を行った。

また、安全科のカリキュラムを見返すべく、カリキュラムの実施状況を確認し、他校でも実施可能なカリキュラムの再編を継続して行っている。

令和6年度には、セーフティプロモーションスクールの4度目の認証となり、日本初のアドバンスドセーフティプロモーションスクール認証校となった。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別的教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、児童が身の回りの様々な危険を知り、その危険に対処する方法を学ぶこと、および自他の生命を尊重し、安全な社会の形成者となることを目標としている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校の児童対象学校教育診断において、9割以上の児童が「安全科」の授業について「楽しい」「どちらかといえば楽しい」との肯定的な思いを持っている。これは、単なる安全指導ではなく、安全科において育成したい資質・能力を独自に設定し、他教科領域と同様、安全科における見方・考え方を働かせながら主体性に取り組んでいる結果であると考えている。しかしながら、学びを日常生活に生かすことに課題が見られることがあり、この課題解決に向けた取り組みが必要であると考えている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

学校で独自に設定した安全科において育成したい資質・能力に基づき、計画・実践を行い、6年間で見通しをもって安全科の授業を行っていく。3に示す課題に対応するために、安全科の学びをもとに、自らを振り返る場を設定し、一過性の学びに終わらないようにする。児童が社会とつながりながら学び、社会全体で安全な社会を作っていくことの大切さを実感できるようにしていきながら、安全科の推進にあたる分掌の拡大、定期的なカリキュラムの見直し等の制度化を検討し、持続可能な取組にしていくことが重要である。